



～令和6年度第3回コア会議が開催されました～

令和6年12月26日（木）に「公園マネジメント会議 令和6年度第3回コア会議」が地球市民交流センターにて開催され、コア会員16団体に対し、出席が11団体となり、コア会議が成立しました。

前回のふりかえりとこれからの取り組みについて報告が行われました。また、「公園マネジメント会議のあゆみ」（後編）の紹介後、これまでの公園マネジメント会議の活動における論点を整理した上で、今後「どのようなことを取り組んでいくのか」について、グループワークにより活発な意見交換が行なわれました。



前回のふりかえり

●第2回コア会議（令和6年10月17日開催/第85号かわらばん参照）のふりかえりで、「夏休み特別企画」の開催結果、「公園マネジメント会議のあゆみ（前編）」の紹介、「どのような取り組みができるのか」をテーマとしたグループワークの実施結果について事務局より報告がありました。

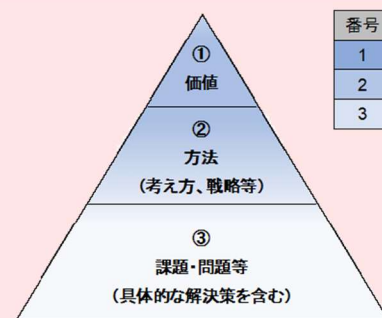
これからの取り組みについて

●第2回コア会議において、公園マネジメント会議として「どのような取り組みができるのか」をテーマとしたグループワークの結果について事務局より報告がありました。

【第2回コア会議でのグループワークの整理】

- 公園マネジメント会議は多様な会員で構成されており、各会員においてマネジメント会議に所属する目的等が異なるため、「一体感」は出ない。同様に、公園利用者も多様であるため、マネジメント会議として公園利用者の満足度向上等に資する取り組みを協議する場合は、右記のとおり分類分けを行い、分類毎の組み合わせにより話し合いの対象を明確にした上で、話し合う必要がある。また、話し合いの結果を共有すると共に、それぞれの考えを尊重した上で、具体的な取り組みを検討していく必要がある。
- 多様化する公園利用者を始め、多様となった課題・問題等の解決に向けたグループワーク（話し合い）を行う場合は、上記分類分けの他に右記フレームにおいて課題・問題等の解決について、どのフレーム（レベル）での話し合いを必要とするのか等を明確にすることを検討する必要がある。
- 上記以外にも、会員がより主体となって取り組む内容の話し合いや会員が話し合いたい議題等でマネジメント会議の運営が可能となるように、事務局（県）の位置付けを見直す（オブザーバーなど）ことも検討すべき、とのこと意見もあった。

大分類	中分類	記号	（例）
受益者 （公園利用者）	ジブリパーク利用者	A	C-1では、モリコロパーク利用者に対して万博派の会員が話し合う。
	イベント利用者	B	
	モリコロパーク利用者	C	
	マネジメント会員	D	
供給者 （マネジメント会員）	万博派	1	
	他力本願型（おまつり便典型）	2	
	事業系イベント派	3	



番号	内容等
1	マネジメント会議のあり方（理念や目的等）
2	組織のあり方、運営の仕方、話し合いの仕方等
3	困っていること、解決したいこと等

【今後の予定】

- 第2回コア会議のグループワークのテーマであった「どのような取り組みができるのか」（キーワード：ブランド化や活動の見せ方、世代交代等）については、具体のアクションまで協議・検討は進まず、テーマとは異なるアウトプットとなった。第4回コア会議（令和7年2月下旬開催予定）では、これらのキーワードに加え、あゆみの紹介（前編・後編）から得るご意見等を今後の取り組みの候補としてまとめた上で、改めてグループワークを実施し、次年度の公園マネジメント会議の実施計画として整理していきたい。

「公園マネジメント会議のあゆみ」の紹介（後編）

●これからの公園マネジメント会議の展望のヒントとするために作られた「公園マネジメント会議のあゆみ」（後編）について事務局より紹介がありました。

グループワーク

●あゆみ（後半 2016年～2023年）を踏まえた上（5つの論点）で、今後「どのようなことを取り組んでいくのか」について、グループワークを行いました。

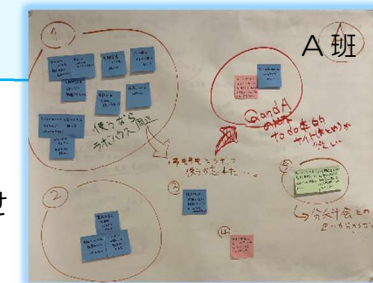
【論点の整理】

1. チャレンジスペースの候補である「NPO控室、ラボハウス、プール前大屋根、サトラボエリア、大観覧車横エリア、西口エントランスエリア、グローバルループエリア」の状況整理と今後の展開
2. 実行委員会のルールブックへの掲載と今後の運用
3. 園内掲示板のルールについて、ルールブックへの掲載とルールの精査
4. モリコロパーク特派員の今後の展開
5. チーム制度のルールブックへの掲載とルールの精査

（グループワーク意見・発表）

【A班】

- チャレンジスペースの活用には「ラボハウス」の周辺がよいのではないか。ただ、「ラボハウス」と「サトラボ」のエリアの区別がわからないので、はっきりさせた方がよい。また、チャレンジスペースの使用手順を改めて整理する必要がある。
- 実行委員会について、立ち位置を明確にする必要がある。
- 掲示板については、ルールブックに細かいところまで掲載する必要があるのか。ルールブックとは別のまとめサイトで、「Q&A」として取りまとめるのはどうか。例えば、「チャレンジスペースの利用について」、「掲示板の利用について」、「特派員の運営について」、「分科会とチーム制度の違いについて」などのQ&A。



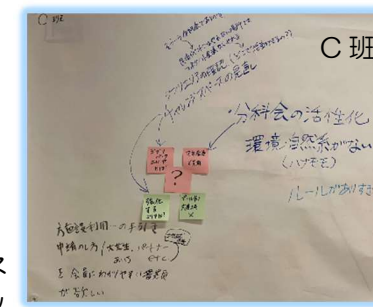
【B班】

- 3つの階層のフレームを踏襲していく思いで始めた。
- （上）の「価値…目的や理念等」では、実践的活動（夏休み特別企画など）は行っているが、マネジメント会議としてジブリとの共生をどう考えるかは、立ち位置を決めた方がよい。
- （中央）…実行委員会のルールブック化は必要か。実行委員会をルールブックに記載するのか、分科会やチーム制度で吸収しても十分ではないか、等も含めて、実行委員会の扱い方を話し合っていく必要がある。
- （中央）…マネジメント会議の目的と目標が分かりづらいため、数値化できないか。
- （下）…チャレンジスペース候補の筆頭として挙げられるのが「西口エントランス」ではないか。その中で、予約や申請の簡略化、マネジメント会員の自由な利用をルール化できると、「西口エントランス」がマネジメント会員によって、より良くなっていく形ができるのではないか。



【C班】

- 「分科会の活性化」という意見があった。分科会活動において、環境系や自然系の活動が少ない。
- 今回の論点にもなっている「ルール」がありすぎて複雑である。
- 今後の取り組みに向けた候補としては、チャレンジスペースの見直しが挙げられる。まずは、ジブリパークのエリアを明確にしてほしいという意見があった。どこで活動ができるのか、どこをチャレンジスペースの候補として挙げられるのか、を確認する必要がある。
- 会員さんでも、場所によってはイベントが開催できないこともある。それが「マネジメント会議の分科会活動であればやれる」という分科会であれば、それはメリットになる。
- 施設利用の手引きについては、未だ作業中になっている。これについては、地球市民交流センターや大芝生広場、体育館などの使い方のルールを分かりやすくする必要があり、公園管理事務所と事務局で作業を進める。



●第4回コア会議では、取り組みのキーワード（ブランド化や活動の見せ方、世代交代等）に加え、あゆみの紹介（前編・後編）から得られた意見等（グループワークの結果）を整理し、議論を深めていきたい。

お問い合わせ先

公園マネジメント会議 HP
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/koen/koenmng.html>

愛知県都市・交通局都市基盤部
公園緑地課（協働グループ）
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL：052-954-6491 FAX：052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会
愛・地球博記念公園管理事務所
〒480-1342 長久手市荻ヶ廻間乙1533-1
TEL：0561-64-1130 FAX：0561-61-2150